

2026年6月1日

報道関係各位

旭日電気工業株式会社

新入社員を対象とした外部での体験研修を実施

旭日電気工業株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役:富井弘之)は、2026年4月に入社した新入社員15名を対象に、日本体育大学附属高等支援学校(北海道網走市、校長:平野雅嗣)で、2026年5月26日(火)から5月28日(木)までの3日間の体験学習を実施しましたので、お知らせいたします。

1. 日本体育大学附属高等支援学校について

日本体育大学(東京・世田谷キャンパス)は弊社の近隣にあり、長年にわたり親交を深めてまいりました。その日本体育大学の附属高等支援学校は、知的障がいのある男子高校生が通う学校です。「継続して働くこと」「地域で自立して生活すること」を目標とし、「スポーツ教育」を基軸に、「労作教育(農業)」と「情操教育(芸術)」の3つを柱に教育を展開しています。

2. 研修の目的

弊社では2025年より、従来の机上中心の新入社員研修に加え、外部での体験研修を導入しました。本年は2年目の取り組みとして、以下の目的のもと、引き続き日本体育大学附属高等支援学校での体験学習を実施しました。

1) 多様性への理解促進:

知的障がいがある学生と数日間を共に過ごすことで、個々の人間に対する理解と尊重を促進し、多様性への理解を深めることを目指す。また、相手の立場に立って物事を考える力を養うことで、「全方位」に満足をもたらすビジネスパーソンへの成長を期待する。

2) 主体的に考え・行動する:

知識だけでなく、体験を通じて主体的に物事を考え、行動する力を養う。実際の状況に直面することで、自らの意見を形成し、問題解決に向けたアプローチを考える能力を高める。また、自己反省の機会を設けることで、学びを次に活かす思考力を磨く。

3) 参加者同士の交流促進、横のつながりの強化:

新入社員が同期と同じ体験を共有し、数日間を共に過ごすことにより、参加者同士の交流を促進し、横のつながりを強化する機会とする。日常業務に戻った後も、気軽に連絡・相談ができる関係性を構築することで、社員の定着やスキルの切磋琢磨につなげていく。

3. 研修内容

研修期間中は、作業学習体験(農業・芸術・部活動など)を通じて、生徒との交流を含む多様なプログラムに参加しました。特に、農業体験では支援学校の生徒と一緒にぶどうの苗を植えたり、

部活動を共にすることで、実践的な学びを深めました。それぞれが異なるバックグラウンドを持つ仲間と共に学ぶことで、チームワークやコミュニケーション能力を向上させる貴重な機会となりました。

弊社は、今後も外部での体験研修を通じて新入社員が多様な価値観に触れ、相互理解に基づくより良い人間関係を構築する力を養うことを支援しています。これにより、人間的な成長と社会に貢献できる人材育成に注力してまいります。

弊社は、今後も外部での体験研修を通じて新入社員が多様な価値観に触れ、相互理解に基づくより良い人間関係を構築する力を養うことを支援しています。これにより、人間的な成長と社会に貢献できる人材育成に注力してまいります。

以上



本件に関する問合せは下記にお願い致します

旭日電気工業株式会社 社長室(高張・廣田)

〒154-8521 東京都世田谷区新町 1-21-12

TEL:03-3425-2070

E-mail:k-takahari@kyokujitsu.co.jp , m-hirota@kyokujitsu.co.jp